(第三種郵便物認可)
大正八年三月七日

夕刊 磐城時報

昭和十三年十二月七日 (水曜日) (第七千三百七十七號) (一)

THE IWAKIJIHO

六日發行

編輯兼發行人 岡田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金弐錢 一ヶ月金卅錢
廣告料一行十四字詰五十錢
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

『生れかはれば屑でも寶』

驚ろくべき再生ぶり

廢品回收展け ふ蓋開け

『生れかはれば屑でも寶』といふ國策順應資源擁護の廢品回收展覽會は廢品回收懇話會平支部主催で今六日から市公會堂に開かれてゐる、一階大ホールに陳列された品物といふのがビール、サイダーの毀れた空壜、ガラス屑、古釘、金物屑、古新聞、雜誌から『ボロ』まで凡そ古いのとクヅと云ふ言葉でゴミ箱へ捨てられたり二束三文で賣り拂はれる廢品ばかり無慮數百点、ところがこの廢品がガラス屑は回收されると立派なビール、サイダー壜となつて再生、くづゴム、レコードセルロイドが足袋底、自轉車自動車のタイヤー、玩具のマリとなつて二度の勤めをする女の髮の毛も積ればカモヂ、カツラとなり、眞赤に錆びた釜の廢品が立派な南部鐵瓶になつてしまふ、鑄物の屑はストーブ、コンロに化け、麻ボロ、毛糸クヅ、毛布クヅが派出なモスリンの着物に代つてゐるといふ見るもの驚くばかりの回收再生ぶりである

石郷岡辯護士 無罪論主張

昨日互融會公判

石城中小商工互融會吉田昌弘(四八)にかゝる業務上橫領事件の公判は五日午前十時平支部で開廷、富澤檢事の懲役二年求刑に對し酒井辯護士執行猶豫論、石郷岡辯護士は無罪論を主張した、判決は來る十三日午前十時

加藤技師視察

縣土木課加藤技師は六日來平し左の個所を視察

▽竣工災害工事、仁井田川護岸、藤原川、石川—湯本線度管下宮城、新潟兩縣代表と合流し、長崎港出帆上海に上陸し

▽中小河川、夏井川、新川、蛭田川

天晴れ銃後の妻

農産品評會に見事一等

川部村の農産物品評會は去る三日から三日間開催されたが、數多い出品中、出征軍人の妻芳賀さだ子さん(三二)が十点出品のうち一点は見事に一等に入賞、一好間村農産物品評會の褒賞授與式は六日午後一時から今仁井田校で擧行、同二時から農會役員青年幹部を中心に農事座談會を催した

本年最終の市會

來る二十六日ごろ招集

本年度最終平市會は開期中の縣會を考慮し、二十四日乃至二十六日頃開會する豫定であるが、提案する案件は

日下調査委員會で調査を急いでゐる東京市杉野周吉氏請願の地下石炭試掘許可に對する答申案と特別補給金交附に依る歲入更正豫算、市長以下吏員の年末賞與

本田警部補着任

平警察署の新任司法主任警部補本田泉氏は今六日午後二時五十分平着列車で着任した

農産展褒賞授與

廢品回收展から

平市及び近郷から一ケ年に屑屋さんに賣り拂はれる廢品はどの位あるか、いま公會堂で開かれてゐる廢品回收褒覽會にこの興味ある統計表が掲げられてゐる

▲空壜類
ビール 六〇〇、〇〇〇本
サイダー 二〇〇、〇〇〇本
一升酒 六〇、〇〇〇本
二立醬油 五〇、〇〇〇本
酒小壜 八〇、〇〇〇本
▲ゴム、ガラス類
ガラス 五〇、〇〇〇貫
レコード 五〇〇貫
セルロイド 一五〇貫
ゴム 三〇、〇〇〇貫
▲鐵類
鍊鐵 七五〇、〇〇〇貫
鑄物 三五〇、〇〇〇貫
ブリキ 一五〇、〇〇〇貫
銅 六、〇〇〇貫
眞鍮 八、〇〇〇貫
鉛 四、〇〇〇貫
亞鉛 一〇、〇〇〇貫
鉛管 一、〇〇〇貫
ニユーム 一、〇〇〇貫
煙草銀紙 八〇〇貫
雜誌 六〇、〇〇〇貫
新聞、紙屑 二五、〇〇〇貫
▲布、類
ボロ 一〇〇、〇〇〇貫
モス 毛糸 五、〇〇〇貫
▲袋類
空カマス 一〇〇、〇〇〇枚
砂糖袋 一五、〇〇〇枚
米袋、 一二、〇〇〇枚
メリケン粉袋 六、〇〇〇枚
セメント袋 六〇、〇〇〇枚
砂糖布袋 五、〇〇〇枚
豆袋 二〇、〇〇〇枚
飼料袋 三〇、〇〇〇枚
▲空樽、空罐類
醬油類 五七、〇〇〇本
酒樽 五、〇〇〇本
燒酎瓶 一一、〇〇〇本
石油罐 一二〇、〇〇〇本
種油罐 七〇、〇〇〇本
菓子罐 七〇、〇〇〇本

これらのうち古雜誌、新聞、ボロ屑はすべて製紙原料となり再びハトロシ、ボール、新聞ザラ、障子紙となる、モスリンクズ、毛糸クズ、靴下ボロ、半毛クズなども溫かいジヤケツ、毛布となつて再生、袋や空罐類はどんな古いものでもまた元通りの袋や罐になり蓄音器の針、トタンクズなどの極く小さなものでも立派な玩具となつたり七、八十回の自轉車と生れかはつて來るからお互に一本の針も無駄には出來ない

幼女火だるま

赤井村大倉吉井炭礦坑夫加藤勝美さん長女勝子さん(五ツ)は四日朝六時半頃濡れた前垂れをガン〳〵の火で乾かしてゐるうち着衣に火が移り全身に火傷を負ひ生命危篤、兩親が仕事に出た留守中の奇禍である

同僚を毆る

磐城炭礦綴坑通氣係現場員土屋某(三三)は四日夜作業のことから坑夫佐藤留三郎(四四)を毆打し面部へ全治十日間の傷害を負はせ平署の取調べを受けてゐる

天氣豫報

今晩は北四の風晴
明日も同じ

明後日出發する

鄉土部隊演藝慰問の

舌の勇士 湖洲君一行

第一線の鄉土部隊を慰問する本縣皇軍慰問使節に、平市から選拔された名譽ある演藝團員

平市田町中島湖洲君(四四)と同堂の前山下健藏三女八重子さん(一九) 白銀町芳賀俊男妻君子さん(十八)

の三名は八日午前十一時七分平驛發列車で福島に向ふことになり、五日青沼市長初め市內各方面に挨拶廻りをした、本縣の慰問使節一行十名は福島市阿部清月氏を團長に十日午前十時四十五分福島驛發、東京で第二師團と合流し、長崎港出帆上海に上陸し南京を振り出しに陽子江を溯江して軍令部、九江から漢口まで約四十日間に亘り、狹洲部隊を各隊毎に素人演藝に依つて慰めるのが目的である

平市の名物男〝湖洲さん〟以下八重子さん、君子さんともに縣から支給されたカーキ色の服裝に身を固め『一家一門の名譽です』と湖洲さんは元氣で語る

日本國民として第一線に起てないことを殘念に思つてゐましたが〝愛が身を助くる〟の諺をそのまゝ、親不孝者のおかげで志願しても出來ない〝皇軍慰問使節〟に選ばれたことは感激の外ありません、玄人でないから果して慰問の目的を達せられるかどうか心配ですが、第一線の將兵が身命を賭して國のために働いてゐるやうに、自分達も死を以て將兵に報ゆるの覺悟を定め、縣民の意志に反かぬやう努力するつもりですから何分の御聲援を願ひます

リヤカーで盜み歩く

不敵な日用品泥棒御用

茨城縣東茨城郡長岡村生れ住所不定前科一犯小野利行(二九)は三日朝、小名濱町阿部市太郎さん方その他から先づリヤカーを盜みそれに玄米一俵、薪等盜んだ品を山と積み湯本町で賣拂はんと徘徊してゐるとこ

學務委員會

平市學務委員會は今五日午前十時から第三小學校に開き、明年度の事業について協議し、各校の教育視察を行つた

協和會補導員會

郡內居住の半島同胞百四十名を以て結成された平協和會の補導員會は、明七日午前十時から平署會議室に開き、會旗調製、會員補導等について協議する

一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科
平市田町(電五〇九)
院長 中野惠次

整形外科
大河內醫院
電(平)五八八番

御料理
〝むぎとろ〟
さつき
出前迅速……
平市紺小路 電四八八

賣特品用答贈暮歲御
富豐品製御慮れる喜ばと喜つきつ
し出賣大服呉用春新
日早御分御は幾仕度御の着晴に
三井呉服店 平・三 電 384 288

藥劑士 堀功調劑
よく効く 眼ぐすり 神教水 一瓶二〇錢
發賣元
魁文堂

防空訓練講評【四】

本田平警察署長

燈火管制の徹底（續き）

街路燈の殘置は從來少きに失したのでありましたが今回相當增加せられた樣であります、警戒管制下に於ては交通量がありますから交通保安上規定に許された範圍の燈火を殘置する樣努められたいのであります、標識燈は空襲管制下に於ても治安維持上必要なものでありますが各地共概して其の施設が不備であります、駐在所、派出所、防護團詰所、消防組詰所、消火栓等に於ては是非施設する樣希望致します

自動車の前照燈は照度計を以て測定するのが正しいのでありますが其の光度に稍近い程度にする爲に乙地區域に於ては黑の新モス一枚を以て被覆する樣指示しました處極めて容易な材料を使用したり或は深夜になりまして覆を脫して運行したものもあつたのは遺憾であります、又前照燈、側燈合せて二燈以下となつてゐるのでありますが側燈を其の儘點燈したものもあつた樣であります

懷中電燈は警戒管制乙地域に於ては平常の儘で甲地域にありては〇・三燭光以下とし空襲管制の際は消燈することになつて居りますにも拘らず電燈を携帶し加せられた樣であります、警戒して時々点滅するものがあります管制下に於ては交通量がありま注意を要します、但し防火作業を爲す場合は必要最少限度の光を使用し得ることになつて居るられたいのであります

屋外作業燈は警戒管制乙地域に於ては作業面百平方米について三燭光以內、一燈十六燭光以下となし遮光して点燈することが出來るのでありまた警戒管制甲地域に於ては迅速に消燈し得る處を講じたるものに限り許可を受けて作業面に於ける最大照度を〇・三ルクス以下に減光し目的して殘置し得るのでありますが其の手續を爲さずに点燈しました向があつたのは遺憾でありまして、不徹底な燈火管制の訓練です、不徹底な燈火管制の訓練では何回繰返しても何の効果もなたのは遺憾であります、又前照いのでありますから將來におき燈、側燈合せて二燈以下となつましても訓練開始前充分調査してゐるのでありますが側燈を其そして指導するの要があるものの儘點燈したものもあつた樣でと認められます

◎徒弟募集　加納活版所

釣通信

仁井田の釣況

四日の日曜は日並頗る好かつたが曇らく續いた晴天に水澄んで小魚前、御殿で鮠を攻めたがふ不成績だつた、岡田氏の大漁當らず、北前でボラを狙つたがの條件から察するにボラは余りこゝも當り皆無で早々引揚げた大勢かたまつてやらぬ方がいゝ本社岡田氏は十時頃から北前の深みに頑張り夕方までに遂に三十五六のボラを揚げて今年の仁井田ボラ漁の記錄を作つた、恐らく三貫匁はあつたらう、他の釣士では三井直吉氏の三本を頭に二本が一人、一本が一人といふ不成績だつた、岡田氏の大漁らしい（S生）

一日一言

野澤武藏

本郷錦村出身の醫藥王星一代議士は半歲余に亘る歐米各地及南米ペルーの視察旅行を終へ、ペルー前總理大臣で現日秘文化協會副會頭ホセ、デヴアグエーロ博士を伴ひ、二十九日橫濱入港秩父丸で歸朝した

◇

星代議士今回の渡米は、同氏が南米ペルーに所有する八十萬町歩の土地整理と、同地開發策を樹立することが主たる目的ではあつたが、今次支那事變以來感情をそこねてゐる米國人に、眞の日本を理解させ、日米親善を圖る民間側の重大な使命を帶びてゐたもので、渡米に先立ち支那各地を親しく視察して〝支那の歷史〟を編纂、各國語に飜譯發行したなども、この方面に大きい貢獻を齎らしてゐる、過般ペルー經濟視察團が來朝、日秘經濟提携に新生面を開拓するに至つたことなども、星代議士の力が與つて大を爲してゐる

◇

外國に個人で八十萬町歩に亘る廣大な土地を有するものは星代議士を措いて他にこれを聽かず、同氏の如き國際的な土地王を生んだ鄕土石城は、大いに誇りとすべきである、然し吾人は徒らに星代議士を禮讚することを止め、同氏の常に不屈不撓の努力に敬意を表すると同時に、同氏をして恥かしめざるやう、石城人として各々努力を拂ひ、自らの向上を圖るべきである

◇

歸朝間もない星代議士は多端な用務に追はれ、東奔西走、席溫るの暇ない貴重な時間を割き、鄕土を訪問十一、二兩日に亘つて平市を中心に、十數ケ所に於て歐米視察談並にペルー開拓に關する講演會を開催することになり、地方の星代議士後援會が主と成つて準備を進めてゐる

◇

吾人は歐米人に日本を理解させる前に、先づ歐米人を深く認識することが最も急なるものあると思ふ、星代議士の鋭い觀察に依つて忌憚ない歐米人の批評を聽き、或ひは海外へ雄飛せんとする靑年諸君のために、今回の歐米視察談は最も時宜に適した講演であつて各地方共盛況を豫想されてゐることは喜ぶべきである

給金を取り通勤して
技術者に成り度い靑年を
募集します

一、年齡十五才以上十八才マデ
一、初任給最低金五十錢以上年二回ノ昇給アリ
多少共經驗有ル人ハ年齡ヲ問ハズ給金モ別ニ定ム
一、希望ニヨリ寄宿舍ノ設備アリ
一、一人ニ付一人ノ技術者ニヨリ責任指導ス
一、退職手當法其ノ他福利施設アリ

丸はん家具製作所
平市新田前　電話一八二番

一、女店員二名募集ス

丸はん商店
平市三丁目　電話二三九番
希望者ハ職業紹介所又ハ當方ヘ御來談下サイ

新文具御案內
マルトモ書店入荷品
進物用
組合せ文房具
賣價（A……四〇　D……二一〇
B……七〇　E……四〇
C……一八）
御子樣のきつと喜ぶお品です
組合せ嚴選、內容質的
見るからに美麗な箱入リボン
止めです
昭和拾四年度
當用日記　ポケット日記
婦人日記　學生日記
家計簿等々
數十種
內閣印刷局發行職員手帳……四
附錄內容が有効適切で大評判です

精神修養に……
〝謠曲と仕舞〟
喜多流　白土會
『入會隨意』平市田町六九

石炭　コークス
水野石炭店
平白銀町『電二九九』

強力電氣應用
神經痛に特効
ケムリの腦氣腦のハタラキ
平市　電話一九三番

縮防
ツルヤ
モスリース

內科
小兒科
レントゲン科
四倉町『電話二十番』
吉田醫院
醫學博士　吉田正

お魚を召すなら
新しく美味しい　ヒノマル凍魚
鯛、マナ鰹、帆立貝柱、目拔鯛
平アヂ、うに貝燒、甘鯛、エビ、鱒
日本水產一手特約『電話二二八・三一六』
卸小賣　平製氷會社
配達ハ一尾一箱デモ迅速ニ致マス
平代理店　ト印魚問屋
四丁目『電五二八』

小兒科
內科
平市南町
志賀醫院
（入院ノ需ニ應ズ）
電話一六二番

安田生命
日本共立火災
東京動產火災
保險
平代理店　井上貞治郎
平市五町目　電話六六番

內臟外科
レントゲン科
晝夜診療
入院隨時
北川外科
醫學博士　北川芳夫
平市新川町『電四六四』

耳鼻咽喉科
入院自炊の便あり
大和田醫院
平市南町（電話一〇七番）